

昭和 (1962年～1989年)

東京オリンピック聖火リレー
(昭和39年)



役場前の交差点。奥は鏡石駅
(昭和48年)



全国優良町受表彰を祝った記念式典
(昭和50年)



8.5水害で浸水した成田地区
(昭和61年)



60年前の昭和37年はこんな年でした

- 東京の人口が1,000万人突破
- ビートルズが「ラヴ・ミー・ドゥ」でデビュー
- 金田正一投手(国鉄)が奪三振の世界新記録達成
- 大正製薬が「リポビタミンD」を発売

年	主な出来事
昭和37年	鏡石村が町制施行し、鏡石町となる
38年	国道4号線が開通
39年	第18回東京オリンピック聖火リレーが鏡石町を通過
40年	町営水道竣工
43年	町立保育所開設(笠石)
44年	第1回成人式(夏期)、町立成田幼稚園開設、町章を制定
46年	冬季札幌オリンピック聖火リレーが鏡石町を通過
47年	体育協会設立、町立鏡石幼稚園開設、町役場新庁舎開設、町立第一小学校新校舎完成、町制施行10周年記念文化祭・町民大運動会開催
48年	町の人口が1万人突破、東北自動車道が開通、鏡石パーキングエリアが供用開始
49年	新公民館落成
50年	全国優良町を受賞、岩瀬農業高校が町内に全面移転
51年	第1回町民マラソン大会開催、鳥見山野球場が完成、町島洋一選手(競輪)がモントリオールオリンピック出場
53年	町立鏡石中学校新校舎完成
54年	町老人福祉センター開設、町の花に「あやめ」、町の木に「しだれ桜」を制定
55年	町保健センター開設
56年	勤労青少年ホーム完成
57年	東北新幹線開通
58年	勤労者体育センター(鏡石町体育館)がオープン、鏡石町民憲章を制定、町立第二小学校が豊郷中地内に移転開校、第二小学校跡地に成田幼稚園新園舎が完成
59年	町ゲートボール協会設立、吉田康夫選手(野球)ロサンゼルスオリンピック出場壮行会、成田保健センターが開館
60年	第1回牧場の朝ふるさと祭り開催、アドベンチャークラブ開設
61年	8.5水害で阿武隈川堤防が決壊し45年ぶりの大水害に、鏡石駅コミュニティセンターがオープン
62年	鏡石幼稚園新園舎が完成、岩瀬牧場が観光牧場としてオープン、第1回牧場の朝ロードレース大会開催(874人参加)
63年	町の人口が12,000人突破、グリーンロード完成



鏡石町の誕生を祝って行われた町制施行記念旗行列(昭和37年)

昭和37年8月1日に鏡石村から鏡石町となり、今日1日で60年の節目を迎えました。町制施行時は人口8,802人、1,586世帯だった町も、現在では1万2,221人、4,440世帯(令和4年7月1日時点)が暮らし、令和2年国勢調査の結果では、県内でも人口減少率が低く、子どもの割合が多い活気のある町となっています。今月号では、昭和、平成、令和と3つの時代にわたる60年間の町の歴史を、写真や年表、町民の皆さんのメッセージとともに振り返ります。



町制施行60周年を迎えて

鏡石町は、本年で満60年を迎えることができました。この間、鏡石町は昭和の高度経済成長期やオイルショック、バブル経済、東日本大震災などの激動の時代を、常に先見の明をもってその時代に合わせた新しいまちづくりを進めてまいりました。常に町民の皆様へ寄り添い、住みよいまちづくりを進め、発展してきたことは、多くの先人のご努力とご活躍の賜物であり、ここに改めて深甚なる敬意と感謝を表すものであります。

本年、鏡石町は、「未来へともに創る」「健やか元氣」「安心住みよい」を基本理念



鏡石町長 木賊 正男

に鏡石町第6次総合計画を策定し、10年間の計画をスタートさせたところであります。「未来へつなぐ」ずっと安心みんな元氣に「進」ががみいし」をまちの将来像として定め、具体的な施策を町民の皆様へ参画と協働のもと、「住んで良かった」、「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めてまいります。

この記念すべき年に、悲願である水の安定供給を実現する「鏡石浄水場」の完成、町民の健康福祉の拠点となる「鏡石町健康福祉センター」建設、駅東第1土地区画整理事業による新たな拠点形成を進めるなど、着実に発展を遂げてまいります。今後も、福島空港、国道4号、鏡石スマーティンターチェンジ等の恵まれた高速交通体系の優位性を最大限活かして、人口減少社会に対応してまいります。

激動の60年 未来へつなぐ